



平成 29 年 9 月 26 日

各 位

会 社 名 文化シャッター株式会社
 代表者名 代表取締役社長 潮崎 敏彦
 (コード番号 5930 東証第一部)
 問合せ先 経 理 部 長 西村 浩一
 (TEL 03-5844-7200)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、下記のとおり特別損失を計上するとともに、平成 29 年 5 月 11 日に公表した平成 30 年 3 月期第 2 四半期(累計)の連結業績予想及び平成 30 年 3 月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は、生産性の革新的向上を目的とした「新販売管理システム」の開発を行って参りましたが、当初想定された効果が見込まれないことからシステム開発の継続を断念し、当第 2 四半期において、固定資産除却損 1,750 百万円を特別損失として計上することといたしました。

2. 業績予想の修正

(1)平成 30 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	71,000	3,000	2,850	1,600	22.32
今回修正予想(B)	69,000	1,500	1,450	△ 700	△ 9.76
増減額(B-A)	△ 2,000	△ 1,500	△ 1,400	△ 2,300	—
増減率(%)	△ 2.8	△ 50.0	△ 49.1	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	63,160	2,390	2,486	1,339	18.68

(2)平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	160,000	9,000	9,550	6,400	89.27
今回修正予想(B)	156,500	6,850	7,400	3,400	47.42
増減額(B-A)	△ 3,500	△ 2,150	△ 2,150	△ 3,000	—
増減率(%)	△ 2.2	△ 23.9	△ 22.5	△ 46.9	—
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	145,855	7,280	8,463	5,967	83.24

3. 業績予想修正の理由

当第2四半期累計期間における連結業績につきましては、東京五輪関連施設の着工が当初予定より遅れたこと等に伴い、シャッター関連製品事業及び建材関連製品事業におけるドア・パーティション製品等の大型案件について、当初計画していた時期と比べて収益認識時期が遅れたこと等の要因により、売上高は前回発表予想を下回る見込みであります。利益面につきましても、売上高の減少、受注競争の激化に伴う利益率の低下ならびに上記1.に記載いたしました特別損失計上等の要因により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前回発表予想を下回る見込みであります。

また、通期における連結業績につきましても、上記の状況を踏まえ、前回発表予想を修正いたします。

なお、本業績予想の修正による配当予想の修正はありません。

(注) 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上